

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 115	提案機関名 (一社)神奈川県園芸協会 (神奈川県植木生産組合連合会)
要望問題名 耐塩性・耐陰性・耐乾樹種の選抜について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 ○今、需要があるのは海岸線で、湘南海岸を抱えている神奈川県は一番需要があります。 ○最近新樹種が多く植栽されていますが、どの地域までが、またどの様な樹木が塩害に耐えられるかデータがなく植栽に苦労しています。 ○最近の植栽地は日陰地が多く、新樹種(常緑、落葉)がどの程度耐陰性があるのかデータがなく苦労しています。 ○街路樹で大木になって植わっているだけで枝葉も付かず管理費だけがかかっている現状があります。 ・今後需要が見込まれる樹種に対する(なるべく多くの樹種)耐塩性試験の実施と成果 ・海岸線の住宅等、実際の植栽事例の調査を要望します。 ・よく使用されている樹木を中心に耐陰性試験をお願いします。また、街路樹として常緑で大木にならずに耐乾性のある樹木のデータをお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 地産地消を加速する品種の選定 (5)花き・観賞樹の品種特性検定 イ 観賞樹の品種特性検定		
対応の内容等	<p>耐塩性については、東京都農林総合研究センターで新樹種ポット苗での試験が行われていますので、情報を収集し、提供します。また、当所でも本年度から圃場に定植した状態での耐塩性に関する試験を実施しており、今後、低木類を中心に20～30品種を目標に継続していきます(対応区分②)。また、海岸線の住宅等での植栽事例に対する調査解析につきましては、手法が確立されていないため、県植木連の協力を得ながら調査方法等を含め、順次検討していきます(対応区分③)。</p> <p>耐陰性については、千葉県農業総合研究センターで針葉樹類の検索・分類が行われており、また、東京都では既存街路樹間の中間木として利用可能な耐陰性樹種の検索を行っています。これらの試験データを参照にするとともに、県植木連会員の皆様の生産状況を考慮しながら対象樹木の検討を行っていきます(対応区分③)。</p> <p>街路樹の樹種選定については、従来はその生育速度の早さに重点が置かれていたため、交通状況等に則していない等の問題点があります。当所では、これまでメンテナンスが通常樹形より少ないほうき型樹形の利用を提唱してきましたが、現在、常緑樹でほうき型樹形をもつ樹種は無いため、今後、樹種・品種の検索を継続していきます(対応区分③)。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	解決年限は対応区分②該当課題		